



【令和8年度重点目標】

自ら学びを創り出す子どもの育成 ～チャレンジ！自分でみつけて、自分でつくる～

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。やはり、子どもあつての学校です。無機質に感じられていた校舎に血液が流れ始めたような、止まっていた心臓が再び鼓動を始めたような、校舎も喜んでいるような…そんな感覚です。さあ、どんな2学期になるか、楽しみです。

●始業式で ～学級目標を意識して、素敵な2学期をつくろう～

9月1日の始業式は、暑さ対策のため、子どもたちは各教室にてリモートで参加する形をとりました。私からの話では、最初に、日本や世界が多くの災害に見舞われた夏休み期間中の出来事に触れ、まずは子どもたちが元気に学校に戻ってきてくれたことの喜びと感謝を伝えました。直接子どもたちの顔を見ながら話すことができずに残念でしたが、画面の向こう側でしっかりとした様子で話を聞いている子どもたちが映っていて安心しました。

話の中心は、2学期は「チャレンジ～自分で見つけて、自分でつくる～」を学級のみんな、学年のみんな、全校のみんなで行っていきましょう。そのために、まず、自分のクラスの学級目標を大事にしていこうという話をしました。各学級の教室前方には、4月に子どもたちと担任が話し合っ

て決めた学級目標が掲示されています。左は、6年生の学級目標です。とても素敵です。どの学年、学級にもこんな素敵な学級目標が掲げられています。ぜひ学級目標を意識し、みんなで居心地のよい素敵な学級をつくってほしいと願っています。



●廊下を静かに歩く ～中牟田小学校の「あたりまえ」に～

登校するとき、下校するとき、友だちを見つけたとき、運動場に遊びに行くとき、教室に戻るとき…子どもは、何気ない瞬間に自然と走り始めることがたくさんあります。低学年だと、ぴょんぴょんと無邪気に跳ね回っている姿をみることもよくあります。子どもが活発に動くのには様々な理由があり、心や体を整えるために必要なことでもあるようです。その姿は見ていてとても微笑ましく、子どもが子どもらしく元気であることを本当に嬉しく思います。ただ、学校という公共の場で生活する以上、学ばなければならないルールやマナーがあるのも事実です。中でも、1学期から繰り返し、繰り返し子どもたちに語りかけているのが「廊下を静かに歩く」ということです。廊下を静かに歩くということは、みんなの安全を守ること、みんなが静かに落ち着いて勉強や生活ができるように心配りをするということです。何の悪気もなく廊下を走る子どもを見るとかわいくて仕方ありませんが、「廊下を静かに歩く」が中牟田小学校の「あたりまえ」になるように、心を鬼にして丁寧に指導していきます。

●野寄さんと谷川さん ～あいさつには人を元気にする力があります～

野寄さんは、毎朝児童玄関前に立ち、子どもたちを明るい挨拶で迎えてくださっているかつての区長さんです。谷川さんは、スクールガードリーダーとして町内を巡回されており、4日に一回は、朝中牟田小の正門に向かう横断歩道付近に立ってくださっている警察OBの方です。中牟田小の子どもたちのあいさつについて、お二人からいただいたとても嬉しい言葉があります。子どもたちには1学期の終業式で伝えたことです。

野寄さん曰く「毎朝子どもたちに元気をもらっています!」

谷川さん曰く「中牟田小の子の挨拶がぴかいち!」

お二人とも、満面の笑顔で話してくださいました。子どもたちのあいさつや笑顔が地域の方を元気にし、そして、子どもたちも温かく見守られているという素敵な関係。このような関係性を大切に、そして発展させていきたいと考えています。



野寄さん



谷川さん

●トイレ改修工事のスタート ～待望の児童トイレ完全洋式化です～

私たちの生活様式も様変わりし、和式トイレを使うことは、大人でも「大変」と感じるようになってきている気がします。使い慣れない子どもにとっては、もはや高すぎるハードルになっている感があります。ですから、和式が消えるさみしさを感じつつも、学校にとっては待望の児童トイレ完全洋式化です。ありがたいことです。目安の工期は、以下のようになっています。

①南側校舎…9月19日(土)～2学期一杯

②北側校舎・体育館トイレ…2学期末～3月

事故等ないように、安全第一で進めてまいります。また、工事期間中は使用できるトイレが減るため、トイレが遠くなり、不便になることもありますが、譲り合いながら、上手に使っていききたいと思います。ご来校の際にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いします。

●学習者用タブレット端末が一新! ～子どもの対応力に期待～

一人一台タブレット端末が一新されます。これまで使っていたウインドウズの端末から、クロームブックというグーグルのクロームOSを搭載した端末への移行です。慣れるまでに少し時間を要するかもしれませんが、使い勝手はとて